

令和4年度（2022年度）学校教育指導訪問及び教科指導訪問 北海道豊富高等学校

11月8日（火）に、北海道豊富高等学校において、学校教育指導訪問及び教科指導訪問が行われました。後志教育局から澤村主査（教科指導（国語））、宗谷局から加藤主査（学校教育指導）が訪問し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のための協議や、学校運営上の課題の解決に向けた取組についての協議が行われました。訪問当日の日程や研究協議の概要等について紹介します。

日時：令和4年11月8日（火）
訪問先：北海道豊富高等学校
時程：9：20～ 校長・教頭との面談
9：40～ 研究授業（国語）
10：40～ 研究授業に係る研究協議
学校運営上の課題に関する協議
11：40～ 校長・教頭へ協議の報告

研究授業等について

- 現代の国語（1年A組教室）
授業者：波岸 泰啓 教諭
- 学校運営上の課題等に関する協議（多目的教室）
対応者：鳥毛 浩二 教頭

国語の研究協議について（内容の一部抜粋）

研究授業では、生徒は単元を通して学習した「話すこと・聞くこと」の領域の能力を活用し、相手の理解を得られるよう工夫した表現で発表を行っていた。発表の様子を動画で記録し、自己評価に結び付けるなど、ICT機器の活用も効果的に行われ、生徒の資質・能力を育む素晴らしい授業だった。

担当者から

優れた授業の実践を校内研修等で取り上げ、全体で共有するなどして、授業改善の意識を学校全体で高めることが重要です。また、生徒の学力を保障するために、生徒の実態に合った教育課程の編成について、検討を続けることが必要です。（高等学校教育指導班 加藤洋平）



「現代の国語」の授業の様子